

収蔵浮世絵展

タテモノとマチナミ

―都市と建築の画像を読みとく―
会期 平成26年2月25日(火)〜5月6日(火・祝)

浮世絵の中には、江戸の町並みや当時の建物
の様子を知ることが出来る作品があります。こ
れらの作品は浮世絵の一つのジャンルを構成して
おり、また歴史の資料ともなっています。

例えば歌川広重の名所江戸百景には、町並み
と生活習俗が織り込まれ、当時の暮らしが生き
生きと描かれています。

今回の展覧会では、広重の風景画のほかに
「浮絵」という遠近法を用いて描かれた作品に注
目します。浮絵の中には芝居の舞台絵なども見
られ、当時の建築を知る手がかりとなっていま
す。



歌川広重「名所江戸百景 大てんま町木綿店」



歌川豊国「浮世絵忠臣蔵 四段目の図」(上)と
沢雪嶠「浮世絵駿河町 富士之図」(下)

博物館の舞台展示

博物館の中庭に面した展示舞台では、企画
展示に関連した資料の紹介や、季節の行事に
合わせた展示を行っています。様々なテーマか
らなる舞台展示をお楽しみください。



舞台展示の様子 全国各地の郷土玩具の紹介
2012年に展示した事例です。郷土博物館の収蔵資料
から、民俗資料を中心に展示します。

足立区立郷土博物館だより 64

平成25(2013)年4月
ADACHI MUSEUM
足立区立郷土博物館

平成25年度の展示のお知らせ

特別展 大千住展 ―町の繁栄と祝祭―

会期 11月6日(水)〜平成26年1月26日(日)



上 千住の旧家伝来の東照宮祭礼絵巻
下 千住の街道沿いの商家による、屏風などの美術品の披露

千住は品川、新宿、板橋と並んで江戸四宿の一つに数えられていた。その中で最大の規模を誇ったのが千住です。千住では、宿場と市場の経済力を背景に、様々な文化が花開きました。そして千住は、江戸時代後期から催事や祭礼を通じて、多くの人々が集まる地となりました。

今回の特別展では、江戸時代から現在に至るまで、祭事に披露された美術工芸品や千住の祝祭の様子をご紹介します。また特別展に関連して、区指定有形民俗文化財である千住四丁目氷川神社の山車の装飾などを展示します。

文化を通して発展してきた千住の姿を、博物館でご覧ください。

大千住展プレ展示 山車の装飾

会期 9月29日(日)〜10月20日(日)

「大千住展」で展示される山車は、静御前の人形をはじめ、様々な装飾品で飾られています。この展示では、大正時代の千住の大祭や祇園祭宵山の「会所飾り」にならない、山車の装飾品を特別展に先駆けてご紹介いたします。



千住四丁目氷川神社山車



鶴と松を刺しゅうした上段の四方幕
「千」「四」と町の印が入っています。

利用案内

開館時間 9:00〜17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始
入館料 一般200円(高校生以上)
団体(20名以上)は半額
70歳以上は無料。障がい者手帳保持者およびその介護者1名は無料。
5月5日・5月18日・10月1日・11月3日は無料公開日
第2・第3土曜日は無料公開日
交通案内 JR 亀有駅北口
東武バス 八潮駅南口行(足立郷土博物館) 下車 徒歩1分
六ツ木都住行(東瀬江庭園) 下車 徒歩4分
千代田線 綾瀬駅西口
東武バス 六ツ木都住行(東瀬江庭園) 下車 徒歩4分
駐車場有

足立区立郷土博物館

〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1
TEL (03)3620-9393 FAX (03)5697-6562
<http://www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/chiikibunka/hakubutsukan/index.html>



博物館だより No. 64
平成25(2013)年4月 発行
登録番号24-296

「美しいまち」は「安全なまち」
ビューティフルウィンドウズ運動展開中

再生紙を使用しています。

企画展

昭和はじめの物語

戦前戦中の映像とくらし
会期 7月23日(火)〜9月16日(月・祝)

郷土博物館では、足立の文化遺産を調査する一環で、歴史画像資料の調査を行ってきました。その結果、昭和10年代の足立区の姿を捉えた8ミリフィルムをはじめ、様々なフィルムと写真、資料を保存し、これらを上映可能な状態に復元いたしました。

復元された8ミリフィルムには、当時の北千住駅の様子や、やっちゃ場での取引、千住ねぎの出荷風景などが収められています。

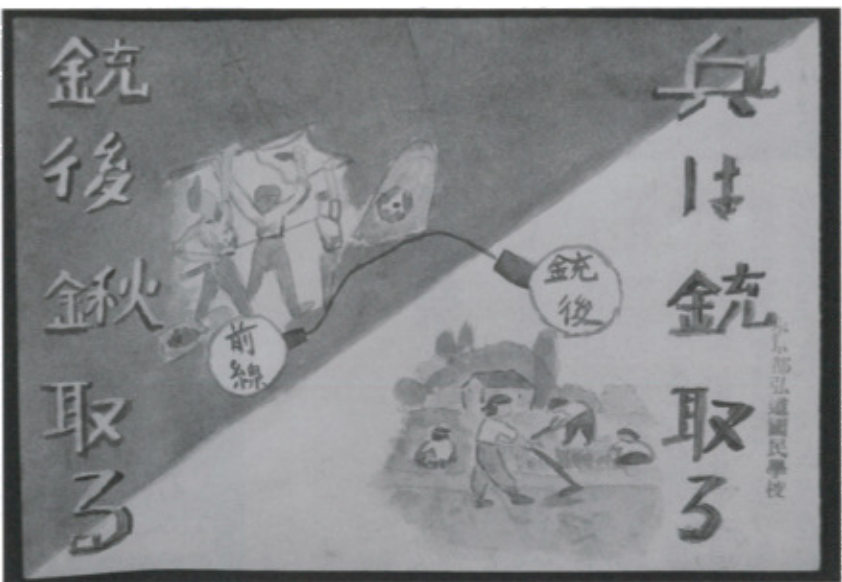


昭和戦前期の北千住駅の様子



やっちゃ場の取引風景

また本年は、学童疎開が開始されてから70年目の年にあたります。この機会に、博物館が収集した学童疎開に関連する資料を公開いたします。今回の企画展では、復元された映像や学童疎開の資料から、昭和戦前・戦中期の足立のくらしを振り返ります。明治時代から受け継がれた昔の生活文化や、戦争が足立の人々のくらしに与えた影響などを、貴重な当時の資料を通してご覧になれる機会となっております。ぜひご来館ください。



疎开学童が描いた戦中の標語貼紙「兵は銃取る 銃後銃取る」

新収蔵資料展

会期 5月21日(火)〜6月30日(日)

区民の方々からの寄贈や博物館の資料購入によって、近年新たに収蔵した歴史・民俗の資料をご紹介します。

今回の新収蔵資料展では、地口行灯に貼られる地口絵紙の新コレクションを展示します。また生活文化資料の茶道具や重箱、民間の金融組織であった無尽講(むじんこう)の道具などをご紹介します。



▲重箱
▶地口絵紙(上)と無尽講の道具(下)

郷土芸能の催し

郷土芸能鑑賞会

開催日 平成25年5月5日(日) 11月3日(日)
平成26年1月11日(土)
時間 各日午前11時より
会場 郷土博物館 中庭
足立区郷土芸能保存会の皆さんが、お囃子や獅子舞などをご披露します。開催日はいずれも博物館の無料公開日です。

郷土芸能大会

開催日 平成25年10月27日(日)
時間 午前10時より
会場 足立区役所 庁舎ホール
足立区郷土芸能保存会に所属する祭囃子、獅子舞、太鼓の団体が、日ごろ鍛えた技をご披露します。
*申込不要、入場無料



平成24年度の郷土芸能大会の様子(島根ばやし連中)
地元の祭礼などで活躍している郷土芸能の保存会が、一堂に会する催しです。

春季区民教養講座

「足立の戦国武士宮城氏一族と江戸六阿弥伝説」

講師 加増 啓二氏
(足立区地域文化課文化財係長)
日時 平成25年4月21日(日)午後1時から
会場 勤労福祉会館(綾瀬ブルミエ)
申込 当日直接会場へお越しください。
参加費は無料です。
※夏季は7月7日、冬季は12月8日を予定しています。

刊行物のお知らせ

郷土博物館収蔵の浮世絵をまとめた『浮世絵と近代版画・橋』を刊行いたします。今回は当館の1,000点を超えるコレクションの中から、『橋』をテーマに作品を選びご紹介します。



『浮世絵と近代版画・橋』(A4版、72頁、オールカラー)は郷土博物館の他、足立区役所二階区政資料室で販売いたします。

博物館の映画会

毎月第2土曜日の無料公開日に映画を上映します。直接博物館へお越し下さい。各回午前11時より
*今年度の映画会では、全国各地の祭礼や伝統文化をご紹介します。また足立区の芸能や伝統技術に関する作品も合わせてご覧いただきます。

- 5月11日 「伝統の技南部系(けし)」(30分) [企画・制作 花巻市教育委員会 ビデオ制作(有)ウィルビー]
- 6月8日 「千住の絵馬」(30分) [当館所蔵作品]
- 7月13日 「伝説の小国和紙」(31分) [製作 小国町教育委員会] 「浮世絵摺師の仕事」(30分) [当館所蔵作品]
- 7月13日 「からむし織—二千年・魂の伝承—」(28分) [制作 福島県 昭和村] 「花畑獅子舞」(30分) [当館所蔵作品]
- 8月10日 「猪俣の百八燈—美里の盆行事—」(27分) [製作 美里町教育委員会]
- 9月14日 「足立の念仏講 栗原・後栗原ズシ、保木間・大門ズシ」(15分) [当館所蔵作品]
- 9月14日 「津幡の獅子舞—伝統の舞と形態・祭り獅子舞—」(18分) [製作 津幡町]
- 10月12日 「鹿浜獅子舞」(32分) [当館所蔵作品]
- 10月12日 「よい米(よいとろ)ー綾上町・米つくりととも生きる伝統文化」(28分) [製作 綾川町(旧綾上町)] 「栗原のツマモノ栽培」(15分) [当館所蔵作品]

*上映作品は都合により変更する場合があります。